

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 11 日 (2021.11.11)

【公開番号】特開 2020-157801 (P2020-157801A)

【公開日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【年通号数】公開・登録公報 2020-040

【出願番号】特願 2019-56384 (P2019-56384)

【国際特許分類】

B 6 0 K 11/06 (2006.01)

B 6 0 K 1/04 (2019.01)

H 0 1 M 10/613 (2014.01)

H 0 1 M 10/625 (2014.01)

H 0 1 M 10/633 (2014.01)

H 0 1 M 10/6563 (2014.01)

H 0 1 M 10/663 (2014.01)

【F I】

B 6 0 K 11/06

B 6 0 K 1/04 Z

H 0 1 M 10/613

H 0 1 M 10/625

H 0 1 M 10/633

H 0 1 M 10/6563

H 0 1 M 10/663

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 28 日 (2021.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

車両の駆動源となる電池が収容された電池室に、冷却ファンによって車室内の空気を供給して前記電池を冷却可能な車両用電池冷却システムにおいて、

前記電池の温度を検知する電池温度センサと、

前記車室内の温度を検知する車室温度センサと、

前記車室、前記電池室及び車外を連通する排出経路と、

前記車室と前記電池室との間で空気を循環可能な循環経路と、

前記排出経路と前記循環経路との切り替えを行う切替手段と、

前記車室内の気圧が車外よりも高くなる所定の与圧条件を満たした場合に、前記電池温度センサ及び前記車室温度センサの検知結果に基づき、前記切替手段を作動させて前記排出経路又は前記循環経路を選択する制御部と、を備え、

該制御部は、

前記電池の温度が、予め設定された低冷却範囲内であって、且つ前記車室内の温度よりも高い場合に前記排出経路を選択し、

前記電池の温度が、前記低冷却範囲内であって、且つ前記車室内の温度よりも低い場合に前記循環経路を選択することを特徴とする車両用電池冷却システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

上記目的を達成するために、本発明は、車両の駆動源となる電池が収容された電池室に、冷却ファンによって車室内の空気を供給して前記電池を冷却可能な車両用電池冷却システムにおいて、前記電池の温度を検知する電池温度センサと、前記車室内の温度を検知する車室温度センサと、前記車室、前記電池室及び車外を連通する排出経路と、前記車室と前記電池室との間で空気を循環可能な循環経路と、前記排出経路と前記循環経路との切り替えを行う切替手段と、前記車室内の気圧が車外よりも高くなる所定の与圧条件を満たした場合に、前記電池温度センサ及び前記車室温度センサの検知結果に基づき、前記切替手段を作動させて前記排出経路又は前記循環経路を選択する制御部と、を備え、該制御部は、前記電池の温度が、予め設定された低冷却範囲内であって、且つ前記車室内の温度よりも高い場合に前記排出経路を選択し、前記電池の温度が、前記低冷却範囲内であって、且つ前記車室内の温度よりも低い場合に前記循環経路を選択することを特徴とする。